

日記じゃないのよブログは ～じぶんチャンネルのススメ～

角南 北斗 (ウェブデザイナー)

hello@shokuto.com

1. ブログは日記？

2002年ごろから急速に広まり、今や市民権を得たと言っていいブログ。日常的にネットを使っている人のほとんどは「ブログを見たことがある」と感じているかと思いますが、ブログの定義は厳密に決まっているわけではありません。試しに Google で「ブログとは」と検索すると、無料ブログサービスのサービス案内にある、ブログそのものについての解説ページが多く見つかります。それらを眺めていけばブログというものの輪郭は見えてきますが、一般にはこういう認識の人が多いいんじゃないでしょうか。「ブログは日記である」と。

確かに、時系列を基準にコンテンツを分類・表示するという仕組みは、ブログの大きな特徴です。その仕組みをクローズアップするという意味では、日記という用途の提示は大変わかりやすいものだと言えます。これが「ブログとは web-log の略だ」とか「ブログも CMS の一種」とかいった説明だったら、ブログがここまで多くの人に使われることはなかったでしょう。

しかし逆に言えば「ブログ＝日記」というイメージの定着が、ブログの持つ「ツール」としての魅力を見えにくくもしたように思います。ツールの使い方は、使い手にゆだねられています。大切なのは、このツールをうまく自分に引き寄せて使えないか考えること。本発表では、ブログのツールとしての捉え方や使い道を紹介していきながら、ブログが「誰でも簡単にはじめられる e-Learning 開発」であるという提案をします。

2. ブログはコンテンツ運用システム

ブログというツールで重要なのは、ページデザイン（ビジュアルやレイアウト）と、コンテンツ（日記であればタイトルや日付や本文などの文章）とが、完全に分離して管理されているという点です。ブログの運用経験がある方ならご存知でしょうが、前者のページデザインは、テンプレートと呼ばれる雛形を選ぶという形になります。後者のコンテンツは、管理画面から決められた箱（フォームの入力枠）の中に文字を打ち込んで保存していただく。そうすると、入力した内容がテンプレートに従ってページに配置されるわけです。

この仕組みがあることで、ページを1つずつ手で作っていく作業から開放され、ページデザインの指定に必要な HTML などを毎回記述する必要もありません。また、ブログは一般向けサービスということもあって、コンテンツを追加する際の操作（管理画面の機能）が比較的わかりやすく作られています。少しずつコンテンツを追加し、時にテンプレートを変え

デザインを着せ替えて楽しんでいるうちに、その便利さや仕組みが感覚的にわかってきます。

このようにブログは「コンテンツをデータベースの形で取り扱う」という仕組みを持っています。データベースは様々なソフト（サービス）で採用されている一般的な概念です。それでも、このデータベースという仕組みは、なかなか普通の人にはピンとこないもの。ブログは、日記というパーソナルな使い方をサンプルに、データベースを備えたやさしい「コンテンツ運用システム」を提供してくれているのです。これを活用しようと考え、将来的にもっと大きな e-Learning をデザインしたり、他の様々な Web サービスを活用することに役立つはずで

3. 何かに特化したブログを考える

では、日記以外にどんなブログの活用方法があるのでしょうか。日常の雑多なよしなしごとを書いていくと日記になってしまうのですが、ブログ全体で内容を統一すると、それはジャンルに特化したデータベースになり、その印象も変わってきます。

例えば、読んだ本の感想を1冊1記事として書きためていくと、書評データベースになります。ブログは日付順に記事を自動的にまとめてくれますから、1年前の自分が読んでいた本なんかをさっと調べられますし、検索機能を使えば断片的な記憶から本を探し出すこともできます。カテゴリを使って、オリジナルの蔵書分類をすることもできますね

撮った写真を登録していけば、写真アルバム、いわゆるフォトログになります（図1）。写真が得意な方はオンラインポートフォリオとして、グルメな方はカフェデータベースとして活用できるでしょう。私の知人は、毎朝作るお弁当をブログにアップしていったことが話題となり、メディアの取材を受けました。

また、自分が見つけた興味深いサイトや記事、試してみたフリーソフトのURLをコメント付きで記録していくのも1つの形です。ニュースサイトのような存在となり、自分だけでなく他の閲覧者にとっても有益なものになるでしょう。

ブログはカテゴリ機能や検索機能を標準で持っているので、私たちはコンテンツを登録していくだけで、自分にも他の閲覧者にも見やすいデータベースを作ることができます。この便利な道具の使い道を考えてみてはどうでしょうか。

4. Web サービスにも手を出してみる

ここまでの話を聞いて、それならブログじゃなくて他の Web サービスを使えばいいのではないか、と思われた方もいるでしょう。そうです。Web サービスも使ってみましょう。



図1 よろずフォトログ
<http://462photoblog.com/j/>

例えば書評データベースなら「crossreview」という Web サービスがあります(図2)。書名を Amazon のデータベースから検索して、100 字のレビューを書いてサッと登録できる快適さ。さらに同じ本に関する他のユーザーの書評を並べて読む、注目したいユーザーの書評をまとめてチェックするといった「シェア」する機能は専用サービスならではの機能です。



図2 crossreview
http://crossreview.jp

同じ「シェア」という切り口だと、写真の共有ということであれば「Flickr」(<http://www.flickr.com/>) が代表的な Web サービスです。人ごとに写真を見たり、全ての写真をキーワードごとにグルーピングしたり、自分のデータベースと他の人のデータベースを混ぜ合わせるような使い方もできます。もちろん、ブログよりも手軽に多くの写真をアップできる仕組みになっていますし、スライドショーのような見せ方ができるのもブログにはない機能です。

見つけたサイトを記録していくことに特化した Web サービスには、いわゆるソーシャルブックマークと呼ばれるものがあります。「はてなブックマーク」(図3) や「delicious」(<http://delicious.com/>) あたりが有名です。これらも、簡単にサイトを登録できる、登録したものを他人とシェアできるという特徴を持っています。



図3 はてなブックマーク
http://b.hatena.ne.jp

こうした Web サービスを使ってみることで、データベース二対するイメージができてくるでしょうし、そのデータベースを公開したり他人とシェアしたりする意味にも気付くことができます。シェアすることで生まれるコミュニティの魅力を実感するのもいいですし、もちろん自分の利便性のためだけにデータベースを作っていくのもいいでしょう。やってみて、実感する。これが、データベースを理解することになり、e-Learning 開発のアイディアのベースになると私は考えています。

5. こじんまりと始める

ブログや Web サービスは、まずは自分の趣味や関心をテーマに始めるといいと思います。さらに次の段階も、世界中の人たちに向けて・・・と大きな目標を立てるのではなく、閲覧者を限定した形で始めるのがいいでしょう。例えば特定の授業だけとか、同じ科目の教師同士でのシェアを目的にするなどです。

知人の日本語教師は、読解の授業でニュースサイトのテキストを教材にするため、短く易しい文章を探してきてはブログに貼り付けています。学習者はこのブログの文章で勉強するわけですが、これにはテキストを紙で配付する旧来のやり方にはないメリットがあります。「ひらがなめがね」(<http://www.hiragana.jp/>) という、指定したページ内の漢字にルビを

付けてくれる Web サービスがあるのですが、これを使うことで学習者が各々で読解教材の難易度を調整できます。ブログの記事ページには対象となる文章しかありませんから、ページの全部にルビが付いても読みにくくなることはありません。ちょっとしたことですが、これも立派な「ブログを使った e-Learning」ではないでしょうか。

また、授業で質問された内容をブログに記録して、学習者がいつでも参照できるようにするという実践を私はやっています。コンピューターを扱う授業なので、操作や設定、トラブル解決に関する質問はよく出てきます。その答えになるような URL を探して記事に貼り付けるだけなので、コンテンツ作りの手間もかかりませんし、学習者にも「困ったときはブログを探す」という習慣が身につくかな？と思ってやっています。将来的には Wiki を使って、学習者が相互に情報を補完していく形が理想ですが、とりあえずわかりやすいブログから始めています。

6. e-Learning 開発の第一歩としての「じぶんチャンネル」

ブログという言葉の知名度は高くても、ブログの「データベースを使って実感できるツール」としての魅力は、まだ十分に認知されていないように思います。e-Learning を考えるとき、データベースに関する理解があるのとないのでは、イメージできるものも大きく変わってきますから、ブログや他の Web サービスを体験することは、e-Learning のデザインにも役立つでしょう。また既存の Web サービスの仕組みをうまく活用するだけでも、小さいながら効果のある e-Learning が可能になると私は思っています。

ブログは無料で始められて、どんなテーマでどんなデータベースを作るのも自由です。ブログを作ることは、ネット上に自分が自由に監修できる「じぶんチャンネル」を持つことだと言えるのではないのでしょうか。そのチャンネルが他の誰かの役に立つかもしれませんし、情報の発信が逆に様々な情報を自分のところにもたらしつかもしれません。

もし、ブログを日記のツールとしか考えていないのであれば、この機会にぜひ「じぶんチャンネル」を開設して、ブログの持つ可能性を実感してみてください。

発表者について

角南 北斗 (すなみ ほと)。大阪府在住。フリーランスの Web デザイナー。

大学院で日本語教育学を学んだのち、Web 制作業界に活動の場を移す。主に教育事業の Web プロジェクトのデザインを手がけ、昨年度からは情報教育の講師も務めている。PCC には 2003 年に初めて参加し、以降毎年、分科会での発表を行っている。

Mail : hello@shokuto.com Official : <http://shokuto.com>

本発表で使用したスライド等の資料は、私のブログの記事 (下記 URL) からダウンロードできるようにする予定です。発表をお聞きになれない方も、どうぞご覧ください。ご意見や感想もお待ちしています。

<http://withcomputer.jp/pcc2009.html>